

教科等の授業改善点（平成17年度）

教科等	改善点	教科等	改善点
国語	書く力・読む力を高めるために、言葉に対する感覚を磨くための題材・教具の工夫をする。 聞く力・話す力を伸ばすために、討論活動の活発化を図る。 文字指導の実態に合わせた指導計画を作成する。 朝自習・読書週間を利用し、読書指導の充実を図る。	音楽	歌集を活用し、たくさんの歌を歌う。 意欲的に取り組むための学習カードや教材の工夫をする。 鍵盤ハーモニカ、リコーダーの教則本の開発をする。 たくさんの曲に出会う中で、基礎・基本を学べるようにする。
社会	児童が興味・関心をもてる教材・教具や、発問を工夫する。 実際の様子を見学し、その経験を発表する機会を多くする。 他教科と関連させ、地域学習に取り組みさせる。	図工	単元の組み立て、素材・材料の準備を含め、よりよい表現につながるよう、子ども達と教材との出逢いを工夫をする。 子ども自らが考えた表現ができるようにするため、授業の中では、必ず「自分で考える」という機会を多く設定する。
算数	導入を工夫し、論理的思考で問題解決ができるようにする。 反復練習、家庭学習との連携を取り入れ、計算力の定着を図る。 教材・教具を工夫し、児童の学習意欲を喚起させる。 少人数学習を効果的に活用し、「楽しく分かる算数」の授業を、展開する。	家庭	自分の生活を振り返り、生活に活かせるようにする。 教材を身近な物から選ぶ。 自分の生活を、より豊かに工夫できる力をつけるような教材を工夫する。
理科	学習のねらいにそった多くの教材を用意し、児童の興味・関心を引き出す。 視聴覚教材の作製：「流れる川の様子・地層の様子」「月と星(天体)」 実験器具の開発・工夫：「大きな力のはたらきを出すこの実験」 計画的な植栽を進め、観察授業の充実を図る。 担任と専科とが協力し、教材研究を深める。	体育	固定施設を活用し、基礎体力の向上を図る。 学習カードを工夫し、具体的なめあて（課題）を持たせる。 グループ学習を通して、学び合い・教え合い・高め合える関係を築かせる。 体について正しく理解し、自分も相手の体も大事にする。
生活	学校林、学級園等の活動を積極的に行っていく。 意欲的な活動につながる学習カード等を工夫する。 1・2年生合同の活動を通し、異学年の交流を深める。	総合	児童の発達段階に応じた課題を設定する。 (学校林・地域との関係・福祉体験) 課題追究・課題解決能力を育成していく。 情報機器を活用した学習方法を工夫する。 学習したことをまとめ、発表する力(表現力)を育てる。
<p>その他(道徳・特別活動) 道徳では、命の大切さとともに、生きる心、自分ができることをする心を育てるために、身の回りの出来事から深く考えられるよう題材を工夫する。 学級活動では、自分達で企画運営していくような活動や個人と集団を意識できるような活動を多く取り入れる。 朝自習などを通して、基礎学力定着の補充をし、さらに家庭学習の習慣化を進める。</p>			